

一、資本主義の発展は、工業革命の進展と共に、世界に於ける労働力の増大を必要とし、これを供給するために、海外に植民地を求めた。この結果、資本主義は、世界に於ける労働力を支配し、その利益を享受するに至った。

二、資本主義の発展は、労働者の生活の悪化を招き、社会的不安定を生じた。労働者は、資本主義の発展に伴って、貧窮と失業の憂に悩まされ、社会的不安定を生じた。

三、資本主義の発展は、民族解放運動の激化を招き、帝国主義の対立を生じた。民族解放運動は、帝国主義の支配に反対し、民族の独立を求めた。

四、資本主義の発展は、世界大戦の勃発を招き、人類の苦難を生じた。世界大戦は、資本主義の発展に伴って、世界に於ける労働力の増大を必要とし、これを供給するために、海外に植民地を求めた。

五、資本主義の発展は、社会主義運動の激化を招き、社会主義の発展を生じた。社会主義運動は、労働者の生活の悪化に反対し、社会主義の発展を求めた。

日本資本主義の発展と労働者の革命と

根拠者人協同會大支所

財団法人協同會大阪支所

一、故に餓死の深淵に突き落され、アル。資本家階級ハコノ危機ヨリ脱出シ、彼等ノ支配ヲ維持セシガ爲ニ、國內的ニハ、自國ノ労働階級、貧農、勤勞被搾取民衆ヲ死物狂ニ搾取シ、壓制ヲ加ヘ、國外的ニハ植民地半植民地ニ對スルヨリ強力ナ壓制ト搾取ヲ敢行シツ、アル。

カタテ帝國主義國內ニ於ケル階級的矛盾ハ異常ニ激化シ、或國々（例ヘバドイツ）デハ今ヤ革命的危機ガ日程ニ上サレントシテキル。他方ニ於テ、帝國主義諸國ト植民地半植民地トノ矛盾モ増大、尖鋭化シ、後者ニ於ケル反帝國主義運動ハ熾烈ニナツテキル。支那革命ノ進展、支那ソヴェート領土ノ輝カシキ發展、印度、ラテンアメリカ諸國ニ於ケル革命的民族解放運動ノ新シキ盛頭等々。

三、世界プロレタリアートノ租國、ソヴェート同盟ハコノ帝國主義諸國ト鋭ク對立スル。コ、デハ社会主義建設ガソヴェート同盟共産黨（ボルシェビキ）ノ指導ノ下ニ素晴ラシイ、テンボデ進展シテキ